



平形教授が第60回日本網膜硝子体学会総会で第24回受賞を受賞
右は同学会理事長 坂本泰二先生



受賞講演「病理組織を意識した網膜硝子体手術」



慶野教授が第126回日本眼科学会総会で評議員指名講演
右は座長の辻川明孝先生



講演「眼炎症性疾患における炎症活動性の
定量的評価法の確立と新たな治療戦略を目指して」



アイセンター一同で記念写真



4月20日オープンカンファレンス 後関利明先生 「解説 Sagging Eye Syndrome」



Kyorin Eye Center Newsletter

vol. 65
Summer
2022

〒181-8611東京都三鷹市新川6-20-2 杏林アイセンター Tel: 0422-47-5511 (ext. 2606) Fax: 0422-46-9309

◆アイセンター新入局員の紹介(中山 真紀子)<1-3> ◆イベント情報<4>
◆アイセンターフォトアルバム<4> ◆編集部からのコメント<4>
＜執筆者:括弧に明記 production:中山真紀子、齋藤翔子、仲寫みずき＞

アイセンター新入局員の紹介(中山 真紀子)

コロナ禍となってから3回目の新年度を迎えました。マスク生活が当たり前となり、学会はハイブリッド開催が主流となっておりますが、昨年の日本臨床眼科学会や今年の日本眼科学会では現地参加された先生方が一時期より増えたように思います。画面越しではなく、直接お会いして、久しぶりの再会を楽しんでいる光景をたくさん見かけました。それでも、先生方やコメディカルとの距離を縮めるための医局旅行は中止が続き、歓送迎会はリモート開催、地域向けの講演会はWeb開催が続いており、OBの先生方とは直接お会いする機会がめっきり減ってしまい大変寂しく感じております。

そんな状況の中で、今年度は6人の専攻医が杏林アイセンターに入局していただきました。また、VRフェローとして新たに2人の先生がアイセンターのメンバーとして加わりました。症例数が多く、忙しいと感じることも多々あると思いますが、その分経験値も上がっていくと思いますので、指導する側も細やかな指導を心掛け、諸先生方の成長を願い、今後の大いなる活躍を期待しております。



上段左から、片岡恵子、松木奈央子、慶野博、岡田アナベルあやめ、井上真、山田昌和、平形明人、石田友香
下段左から、渡邊裕斗、安住祥、大山文弘、浅川庸介、田邊知佳、渡辺龍之介

イベント情報

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、延期や中止などの変更が生じる可能性がありますので、ご参加の際は最新の情報をご確認いただきたく存じます。

<第24回西東京眼科フォーラム> 会場が異なりますのでご注意ください

2022年11月2日(水)19:00~21:00 開催場所:京王プラザホテル

会費:1,000円(日本眼科学会認定専門医2単位)

特別講演:「間違いだらけのぶどう膜炎診療」後藤 浩 先生(東京医科大学臨床医学系眼科学分野 主任教授)

<第65回東京多摩地区眼科集談会> 会場が異なりますのでご注意ください

2022年11月19日(土)14:30~17:00 開催場所:杏林大学医学部講義棟A301,302教室

会費:1,000円(日本眼科学会認定専門医2単位)

教育講演:「演題未定」石田 政弘 先生(東邦大学医療センター大橋病院 眼科 教授)

編集部からのコメント

本年4月から6名の新入局員と2名の網膜硝子体フェローの先生が入局されました。東京都は入局者数が規制されていますが、西東京にありながら東京都の影響を受けています。そんな中での有望な若手に入局して頂きました。最近では1週間に100例を超える手術件数となることもあります。アイセンターの臨床を万全を期して支えてもらっています。

アイセンター新入局員の紹介

<新専攻医>



浅川 庸介

今年度4月より入局させていただきました浅川庸介と申します。東邦大学出身で付属の大橋病院で初期臨床研修を修了致しました。地元で開業している父の影響もあり気づけば背中を追っていました。杏林アイセンターという日本屈指の規模を誇る眼科施設でたくさんの症例を経験し、将来是三鷹市の地域医療に貢献できるドクターになれるよう精一杯努力致します。至らぬ点多々あるとは思いますが何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



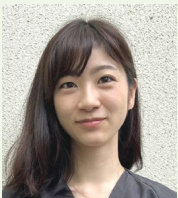
安住 祥

今年度からこちらの医局にお世話になっております。安住 祥です。出身大学は聖マリアンナ医科大学です。部活はゴルフ部とスノボ部でした。初期研修は帝京大学医学部附属溝口病院です。眼科はポリクリから興味を持っていて、研修医で他の科にも興味があり沢山迷いましたが、ギリギリで眼科に決めさせて頂きました。こちらの医局へはゴルフ部の先輩が在籍していたご縁もあり、入局させて頂きました。こちらに入局させて頂いてから2ヶ月経ちました。まだまだ分からないこと、できないこと、至らぬ点多々あるかと存じますが、日々学ばせて頂いております。今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



大山 文弘

今年度より入局させていただきました大山文弘と申します。東京都出身で日本大学を卒業し、千葉徳洲会病院で初期研修を修了しております。医学生時代に眼科が学問的に一番興味あったこと、そして杏林アイセンターを見学させて頂いた際に設備の充実さと圧倒的な症例数に感銘を覚え入局を決意いたしました。また私は連携プログラムでの入局のため、後期研修の2年間を茨城県水戸市内にございます小沢眼科内科病院で研修させて頂く予定となっております。至らぬ点多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



田邊 知佳

今年度4月より入局させていただきました、田邊知佳と申します。小学生より三鷹市で育ち、大学のみ長野県で過ごし信州大学を卒業しました。学生実習時に血管を直接見ることができる眼底の美しさ、繊細な手術に心を惹かれ眼科医を志しました。アイセンターは学生時に見学し、充実した環境で大変感銘をうけ、初期研修より杏林大学医学部付属病院にて研修させて頂いております。恵まれた環境で研修できることに感謝の気持ちを忘れずに臨床および基礎研究を学び、少しでも地域の皆様の期待や信頼にこたえ医療に貢献できるよう、日々精進してまいる所存でございます。未熟に至らぬ点もあると思っておりますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



渡邊 裕斗

渡邊裕斗と申します。名古屋大学出身で、今年度より眼科専攻医としてアイセンターで学ばせて頂いております。自身の網膜疾患を契機に眼科医の道を歩むこととなりました。眼科医を志すにあたり戒驕戒躁の気持ちを目標としたいです。他に類を見ない症例数のひとつひとつを堅実に吸収する経験が、眼科医人生の実りになればと思っています。良き師に学べる環境であり、良き同期と切磋琢磨できることに感謝しながら努力していきたいです。未熟者ですが今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。



渡辺 龍之介

今年度から杏林大学医学部付属病院眼科教室に入局致しました渡辺龍之介と申します。杏林大学を卒業し、杏林大学医学部付属病院で初期臨床研修を経て今に至ります。当アイセンターでは症例数が多く、幅広い分野で専門的治療を行っているため、研鑽を積むには最適な環境と思っております。また、ウェットラボやクルズスなど教育的な面でも充実しており、恵まれた環境で研修できることを嬉しく思います。患者さんの幸せをプロデュースできるように眼科医になれるよう日々精進致します。今後ご迷惑をお掛けする事も多々あるかと存じますが、どうぞご指導ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。

<フェロー>



吉川 祐司

初めまして。4月から杏林アイセンターにお世話になっている吉川祐司と申します。私は埼玉医科大学病院でメディカルを含む網膜硝子体、緑内障を専門にしておりました。この度、平形先生、井上先生をはじめとするスタッフの先生方のご厚意で、短期留学をさせて頂いたこととなりました。主に網膜硝子体フェローの一員として貴重な症例を勉強させて頂いておりますが、各分野の御高名な先生方にご指導をいただき充実した経験をさせて頂いております。短い間にはなってしまうかもしれませんがどうぞよろしくお願いいたします。



中島 康介

本年4月よりVRフェローとしてお世話になっております、中島康介と申します。東京大学の医局に入局し、小平市の公立昭和病院を経て、この度杏林アイセンターで勉強させて頂いたこととなりました。アイセンターの効率的なシステム、症例数、疾患の幅広さに圧倒されています。何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、アイセンターの一員として少しでも貢献すべく努力させていただきますので、何卒ご指導のほどよろしくお願いいたします。



左から、渡邊裕斗、安住祥、大山文弘、浅川庸介、田邊知佳、渡辺龍之介